

ここが聞きたい!

# 代表質問



※ 新型コロナウイルス感染予防のため、時間を1人45分に制限して実施しました。

代表質問とは… 市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。12月定例会において、所属議員3人以上の会派が質問できます。



P8	市民創世会 代表 木村 愛子 議員	1 前市長の継承と「まち」「ひと」について 2 「新たな日常」を見据えた総合戦略の見直しについて	ほか
	市政同志会 代表 福原 敏弘 議員	1 令和3年度予算編成について 2 経済回復への施策効果について	ほか
P9	清風会 代表 林 太樹 議員	1 市政方針について 2 社会福祉対策について	ほか

YouTubeで動画配信中!



市民創世会  
木村 愛子 議員

## 新市長の施策方針について

問 選挙時に市民の要望が高かった福祉・教育施策について市民の負託にどう応えるのか。

答 市長 福祉について、新子育て支援センターや学童保育の環境整備に取り組み、公立保育所の認定こども園化や民営化も進めていく。また、障がい者の相談体制や福祉サービスの充実を図り、人生100年時代のため高齢者が社会参加できる居場所の確保と活躍の場を広げることなど、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指していく。教育については、教育大綱を基本に教育委員会と連携を図り、市民が安心して学べる環境の整備、ふるさと鯖江に自信と誇りを持てる教育を推進する。

問 冬場の学校におけるコロナ感染症対策は。

答 教育長 温度調整に注意し、可能な限り常時窓

を開けるなどして換気を行う。中学校においては、受験シーズンを迎えることもあり、授業を確実に進める。冬季スクールバスは密を避け、1台の乗車人数を減らして運行する。

問 JR鯖江駅前、駅周辺のまちづくりに具体的に動き出すべき時では。

答 市長 総合的な2次交通網の構築に向け課題整理を行った「市交通ビジョン」では、JR鯖江駅を核としたまちづくりに視点を置き、東口改札や駅東駐車場の再整備を関係部署横断で検討していくこととしている。

問 コロナ禍で全国的に女性の自殺者が増えている。市の現状と今後の支援は。

答 今年9月末現在9人で、昨年の年間自殺者数に達している。月2回の公認心理士、年4回の精神科医師による対面、電話での相談を11月末で12回行い延べ27人が利用。コロナ禍で、精神的な不調を来す人が増えると思われ、今後も相談できる場として継続し、関係機関と連携して支援したい。